



三國湊文化財
まらあるきガイド

三國廻湊図

湊町の歴史にふれる、ぶらり小径散策。

01 三國神社

隨身門(県)、大刀銘守次(県)、木立神社立願文(県)、
拜殿向拝の群猿像(市)、木造神馬像(市)、三國祭(県)

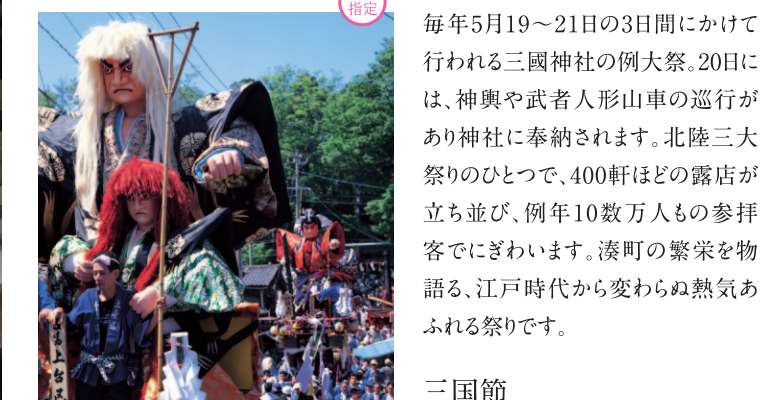


御祭神は大山咋命と継体天皇。天文9年(1540年)、住人が兵庫川で御神体を拾い正智院に納め、やがて山王宮が建立されました。明治に入り継体天皇を祀る水門宮を合祀し、桜谷神社に改称、明治18年(1885年)に三國神社と改称しました。境内にはケヤキをはじめ大樹が生い茂り、荘厳な雰囲気です。

◎山王6-2-80 Tel.0776-81-2514

三國祭

県指定無形民俗文化財(県)

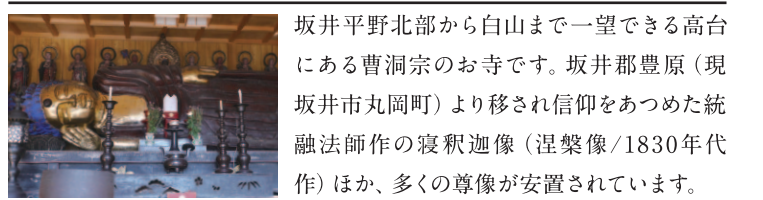


毎年5月19～21日の3日間にかけて行われる三國神社の例大祭。20日には、神輿や武者人形山車の巡行があり神社に奉納されます。北陸三大祭りのひとつで、400軒ほどの露店が立ち並び、例年10数万もの参拝客でにぎわいます。湊町の繁栄を物語る、江戸時代から変わらぬ熱気あふれる祭りです。

武者人形山車巡行
20日の中日祭には、高さ6mにもおよぶ巨大な武者人形の曳き山車巡行が行われます。昼には武者人形山車6基前後が神社前に集結し、三味線・笛・太鼓のお囃子に合わせて湊町を練り歩きます。人波をかきわけて細い路地を山車が進む光景は圧巻です。

02 恵雲寺

寝釈迦像



◎山王1-1-21 Tel.0776-81-3390

03 森田家

森田家文書(市)

森田家は戦国時代に三國湊を代表する問丸となり、幕末から明治にかけて大廻船問屋として活躍しました。明治期に銀行業と倉庫業に転じ功績を残しています。織田信長朱印状などの古文書が伝わっています。

◎山王2-9-50 (現在は個人住宅として使用しています)

04 三國南小学校

木造新井白石胸像(市)、龍翔小学校校門

岡倉天心に認められ、後に東京美術学校教師となった山田鬼斎による木造寄木造の新井白石胸像が、母校である三國南小学校に寄贈されています。南門に移築された笏谷石製の石門は、唯一現存する龍翔小学校の遺構です。

◎山王1-1-50

05 妙海寺

石造千手観音菩薩立像(市)、三國湊城址、三國湊惣会所跡、哥川句碑

享禄元年(1528年)創建。三國に残る在銘石仏として古いものの一つである千手観音石像や、三國の遊女でもあった俳人『哥川』の句碑が建っています。この付近にはかつて湊城や惣会所が置かれ、湊町の中心地として栄えていました。

◎山王2-5-40 Tel.0776-81-2875

06 性海寺

絹本著色地藏菩薩像(国重文)、竹内藤右衛門の墓と軽船漂流者供養碑(市) 森田家墓所(市)

延文元年(1356年)に創建された古刹で、越前国主朝倉氏、福井藩主松平氏をはじめ湊の豪商の祈願所として発展しました。絹本著色地藏菩薩像は鎌倉後期のもので、国重要文化財に指定されています。

◎南本町4-4-8 Tel.0776-81-3788

07 松ヶ下西光寺

三國小女郎墓、元三國大野屋(荒新)

江戸時代より子どもの遊び場として境内を開放しており、三國で最初の小学校が置かれました。平安中期の木造聖観音菩薩立像や遊女「三國小女郎」の墓があり、近くにかぐら建ての元三國大野屋があります。

◎南本町2-4-40 Tel.0776-82-0271

08 旧森田銀行本店

旧森田銀行本店(国登録)、内田家跡、大木古道具店

三國湊を代表する豪商・森田家が明治半ばに創立した銀行の建物で、大正9年に建てられました。県内に現存する最古の鉄筋コンクリート建造物で、外部は西欧の古典主義的デザイン、内部は豪華な漆喰模様のレトロ建築です。現在はギャラリーやコンサートに使用されています。

◎南本町3-3-26 Tel.0776-82-0299/9:00～17:00
休館日：年末年始のみ/入館料：無料

09 旧岸名家住宅

旧岸名家住宅(国登録)、三國湊町家館

大正2～3年頃の材木商住宅を復元した「かぐら建て」町屋で、商家の裕福な生活を偲べます。2階には三國ゆかりの文学者や俳諧資料が展示されています。隣の三國湊町家館はボランティアガイドが常駐する観光拠点です。

◎北本町4-6-54 Tel.0776-82-0947/9:00～17:00
休館日：年末年始のみ/入館料：100円

10 坂井家住宅

坂井家住宅主屋・土蔵・荷倉(国登録)

舟運が盛んだった頃の湊町の様子を伝える、明治初期のかぐら建て住宅です。三國の典型的な商家建築で、九頭竜川に面した荷倉まで国登録文化財指定を受けています。(現在は個人住宅として使用しています)

11 金鳳寺

木造聖観音菩薩立像(市)、鐘樓門、芭蕉碑初雪塚、日和山吟社宗匠碑

永正年間開山の曹洞宗禅寺。船頭たちが海や空模様を見て出航を決めた日和山に建っています。俳諧を愛した文人墨客、遊女らが句会を開いた「日和山吟社」発祥地で、句碑が建てられています。

◎北本町3-3-17 Tel.0776-81-3510

12 出村界限

思案橋

三國には井原西鶴が「北国にまれな色里あり」と称したほど格式高い花街がありました。出村界限もその一つで、賑やかだった時代の名残をとどめています。地藏坂や見返り橋など、遊郭街にちなんだ名も残されています。

13 魚志楼

魚志楼本宅・西蔵・東蔵・奥座敷(国登録)

出村が華やいだ時代の面影を残す明治～大正期の建物で、「かぐら建て」の町屋、切妻造の土蔵、数寄屋風の奥座敷が連なります。現在は料理茶屋となっており、国の有形登録文化財の中で食事を楽しめます。

◎神明3-7-23 Tel.0776-82-0141/11:30～14:00・18:00～22:00/不定休

14 みくに龍翔館

袈裟襷文銅鐸(県)ほか

昭和初め、三國芦原電鉄の敷設工事に発見された弥生時代の銅鐸をはじめ、三國の様々な文化遺産を展示している郷土資料館。明治期にオランダ人エッセルがデザインした龍翔小学校を復元した外観です。

◎緑ヶ丘4-2-1 Tel.0776-82-5666/9:00～17:00/休館日：水曜日/入館料：300円

15 瀧谷寺

金銅毛彫宝相華唐草文簷(国宝)、鎮守堂(国重文)、絹本著色地藏菩薩像(国重文)、天の国(国重文)、瀧谷寺庭園(国名勝)、瀧谷寺開山堂(県)



永和元年(1375年)に開かれた真言宗智山派の古刹です。国宝や重文など貴重な寺宝が多く、6月の「火渡り」で有名です。境内には古樹も多く幽玄な雰囲気に包まれており、庭園は国指定名勝に指定されています。また、高浜虚子、伊藤柏翠、森田愛子の句碑もあります。

◎瀧谷1-15 Tel.0776-82-0216/9:00～17:00 拝観料：300円

16 眼鏡橋

眼鏡橋(国登録)

大正2年に築かれた、鉄道単線をまたぐ煉瓦造アーチ橋です。レンガ小口4枚厚の斜架、いわゆる「ねじりまんぼ」で、アーチ端部が鋸歯状の段差仕上げとなっているのが特徴です。えちぜん鉄道三國港駅近く。

17 春日神社

春日神社木造神像(市)

周囲には古木が茂り、境内の池には赤い欄干の橋が架けられています。神社には3体の座像が安置され、いずれも鎌倉後期作と伝えられています。毎年10月の例祭では神輿が海へと入り神社へ奉納されます。

◎宿27-41

18 三國港(旧阪井港)突堤

三國港[旧阪井港]突堤(国重文)

明治期に豪商が発起人となり、オランダ人技師エッセルが設計し、デ・レイケの指導下で工事が進められた九頭竜川河口にある港湾施設です。我が国初の近代港湾構造物で、土木技術史上高い価値があります。

19 米ヶ脇西光寺

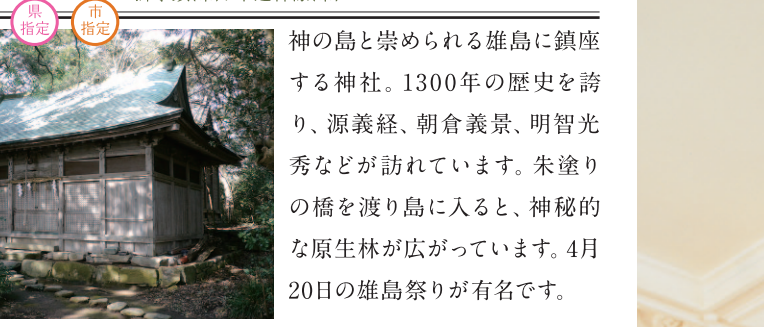
四脚門・鐘楼(市)

開祖は越前守護大名の朝倉家の出で、歴代住職が朝倉姓を名乗る蓮如上人ゆかりのお寺です。四脚門と鐘楼は江戸初期のもので、ほかにも鎌倉中期作の木造阿彌陀如来像、実如上人から頂いた蓮如上人御影など貴重なものが数多くあります。

◎米ヶ脇5-1-10 Tel.0776-81-2515

20 大湊神社

大湊神社本殿(県)、大湊神社拜殿(県)、木造神像伊邪岐命(県)、木造女神坐像(市)、獅子頭(市)、木造神像(市)



◎安島23-15-1(陸宮) Tel.0776-81-2959

21 御嶽神社

御嶽神社本殿(市)

本殿は覆屋に納まった小規模な一間社流造柿葺で、創建年は不詳ですが、彫刻を見ると室町時代とも推測されます。明治10年(1877年)に村社に列せられ、明治15年(1882年)社殿を改築しています。

◎浜地29-24



発行・お問い合わせ先
一般社団法人 三國會所

913-0046 福井県坂井市三國町北本町4-6-55
三國湊町家館内
Tel.0776-82-8392 Fax.0776-85-7392
メール mikunikaisyo@gmail.com
ウェブサイト http://mikunikaisyo.org



笏谷石を探そう!
 福井市足羽山で採掘された笏谷石。濡れると青く光る、加工しやすい名石として北前船で三國湊から全国へと運ばれた。「三國石」とも呼ばれ、石塔、石垣、狛犬など、湊町に数多く残されている。



山車巡行路を歩こう!
 6mを越す山車が細い路地を練り歩く三國祭。地区ごとに山車蔵があるのでチェックしてみよう。昔ながらの狭い路地には、車一台が通るのもやっとの狭い曲がり角も。「どうやって大きな山車が通るの?」と想像しながら歩いてみよう。



三國湊文化財 まちあるきマップ

歴史と文化が薫る、帯の幅ほどある町—三國湊。
 風情ある町並みが九頭竜川にそって細長く続き、いまなお歴史文化と伝統が息づく三國湊。古くは継体天皇の母・振姫の生まれた地、室町時代には「三津七湊」の一つとして江戸から明治時代にかけては北前船の寄港地としていつの時代も日本有数の湊町として栄えてきました。近松門左衛門や三好達治など時代を代表する文豪に愛され、商人・職人文化の活気で満ちあふれた湊町。情緒たたく小径をそぞろ歩けば時代を彩った文化の薫りに出会えます。

記号について

詩歌文学館	詩歌文学館	詩歌文学館	詩歌文学館	詩歌文学館
語り書書き	語り書書き	語り書書き	語り書書き	語り書書き
史跡	史跡	史跡	史跡	史跡
山車蔵	山車蔵	山車蔵	山車蔵	山車蔵
三國祭(5/20)	三國祭(5/20)	三國祭(5/20)	三國祭(5/20)	三國祭(5/20)
山車巡行路	山車巡行路	山車巡行路	山車巡行路	山車巡行路
食事処	食事処	食事処	食事処	食事処
土産物	土産物	土産物	土産物	土産物
トイレ	トイレ	トイレ	トイレ	トイレ
駐車場	駐車場	駐車場	駐車場	駐車場
レンタサイクル	レンタサイクル	レンタサイクル	レンタサイクル	レンタサイクル